



日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部



発行人：鈴木 富雄
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A
あゆみコーポレーション内
Tel.06-6441-4918 Fax.06-6441-2055
E-mail [jpca@a-youme.jp](mailto:j pca@a-youme.jp)
HP <http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/index.html>

ニュースレター No.53 (2026.9)

報告：未来の医療人を育てよう

高校生と医学生のための地域医療体験2026を開催しました！

三澤美和（大阪医科薬科大学病院 総合診療科／高槻市）

大阪医科薬科大学地域総合医療科学寄附講座では、学生たちの夏休み期間に「**高校生と医学生のための地域医療体験**」を兵庫県神崎郡神河町で開催しています。大阪や東京、兵庫県の高校から将来医療者を目指している高校生たちが集まり、現役医学生のリーダーとチームを組んで3日間過ごしながら、神崎総合病院を中心に実際の医療現場を見学・学習したり、多職種の方々と交流ワークショップをしたり、地域の住民さんとのバーベキューをしたりと、授業では習わない体験をします。今年で12回目を数え、今年も8月5～7日の2泊3日で無事、開催することができました。スケジュールはこのような感じです。

1日目 開会式、神河町と医療についての講義、院内各部署のツアー、職員や地域住民の方とのBBQ

2日目 病院を出て地域のなかで医療体験（訪問看護・リハや健康教室、小児療育など）

午後は様々な職種の皆さんとの多職種ワークショップ

3日目 神河の美味しいジェラート屋さん、オペ室見学を経て、まとめの発表、閉会式

医療職をめざす高校生はたくさんいますが、医療がどれだけ多くの人によって支えられているか、思いやりや優しさをもった医療とは何か、住民の方が生き生きと暮らす様子など、インターネットの情報からは感じる事ができない、リアルなことが多くあります。人と人の心の交流を通じてチームで話し合いを重ね、3日間で高校生も医学生も大きく成長しました。そして同時に職員の皆さんや私たち教員も、初心を思い出して勇気をもらいます。この実習は12回目を数えますが、その後高校を卒業し看護師や医師、消防士など多くの場所で実習の修了生が活躍してくれています。今後も地域に思いを寄せる医療人を育てるべく、神崎総合病院と当講座の本実習を継続していきたいと思えます。



第39回近畿地方会へ、ぜひご参加ください！「小さな実践、ひろがる未来」

近畿地方の会員の皆様へ

第39回日本プライマリ・ケア連合学会近畿地方会、大会長を拝命しました、関西医科大学の石丸です。

近畿地方会を、**2026年11月29日（日）9時～15時30分、オンライン**で開催いたします。このたび演題募集を締め切り、36演題のご応募をいただきました。ご応募くださった皆様、発表に向けてご指導・ご支援くださった皆様に、心より御礼申し上げます。

本地方会は、これまで現地開催とオンライン開催を交互に行ってしてきました。今回は、鈴木富雄大会長のもと近畿支部が一丸となって取り組んだ学術大会直後の開催となることから、昨年に引き続きオンラインで開催します。

今回は、簡素な運営のなかで、演題発表についてのディスカッションを充実させることを大切にしたいと考えております。専攻医の先生方をはじめ、プライマリ・ケアや総合診療に携わる多職種の皆様が、日々の経験を共有し、立場や職種を越えて率直に語り合える場を目指しており、集まった演題もそのようなテーマであり、議論を楽しみにしております。

外来や病棟での小さな工夫、在宅の現場での気づき、多職種チームで重ねた試行錯誤。こうした実践を持ち寄り、意見を交わすことで、一つの現場の経験が、ほかの現場の明日を支える学びへと広がります。発表者だけでなく、参加者の皆様の疑問やコメントも、この地方会を豊かにする大切な力とかがえています。

また、専攻医の皆さんの学びを支えるOff-the-job trainingも予定しています。昨年に引き続いて、見坂恒明先生に研究、近藤猛先生に教育、天野雅之先生にマネジメントのセッションをお願いしております。こうした領域のoff the job trainingの機会はやや少なく、ぜひご活用ください。なお、Off-the-job trainingのみの参加を希望される場合も、地方会への参加登録が必要です。

10月31日までに参加登録・決済を完了すると、早期割引が適用されます。医師・歯科医師・薬剤師は3,000円（通常4,000円）、その他のメディカルスタッフは1,500円（通常2,000円）です。学生・初期研修医（大学院生を除く）は、登録時期にかかわらず500円でご参加いただけます。オンライン開催ですので、ご自宅や職場からご参加いただけます。専攻医、指導医、多職種の仲間の皆様にも、ぜひお声がけください。

小さな実践を持ち寄り、対話を通じて未来へつなぐ一日を、ともに築くことを願い、多くの皆様のご参加を、実行委員一同、心よりお待ちしております。



第39回日本プライマリ・ケア連合学会近畿地方会

大会長 石丸 裕康

大会ホームページ <https://sites.google.com/view/jpca39>

**案内：事例を通して、多職種で考えるプライマリ・ケア
— 看護師部会 第1回多職種事例検討会 開催のご案内 —**

水川真理子（看護師部会）

近畿ブロック看護師部会では、**2026年12月6日（日）14:00～15:30に、第1回多職種事例検討会をオンラインで**開催します。

プライマリ・ケアの現場では、医療的課題だけでなく、家族関係、生活環境、心理・社会的背景など、さまざまな要因が複雑に絡み合い、一つの職種だけでは解決が難しい課題に出会います。そこで今回は、事例を通して、多職種それぞれの視点を持ち寄り、患者・家族への包括的なケアについて共に考える場を企画しました。

第1回は「**小児のひきこもり、ネグレクト、治療中断**」をテーマに、治療を継続しながら、子どもと家族を地域でどのように支えていくことができるのかを考えます。家庭医、家族支援専門看護師、小児看護専門看護師、臨床心理士・スクールカウンセラー、薬剤師など、多様な専門職をコメンテーターに迎えます。

参加費は無料で、看護職はもちろん、医師、薬剤師、医療・介護・福祉に携わる皆さまのご参加をお待ちしています。それぞれの専門性から「自分なら何ができるか」「他職種とどのようにつながるか」を考え、対話を重ねることで、日々の実践に活かせる気づきを共有したいと考えています。

職種の垣根を越えて語り合い、日々の実践につながる新たな視点や支援の糸口を一緒に見つけてみませんか。

報告：近畿ブロック薬剤師WG 定例ミーティング

辻本 千代美（医療法人福知会 もみじヶ丘病院／福知山市）

JPCA近畿ブロック薬剤師部会
定期ミーティング
日時 2026年 8月 18日(火)
時間 21:00～22:00
テーマ もう一つの優秀賞から学ぶ
「ポートフォリオ勉強会」
まだまだ暑い時期ですが
皆で熱く語り合いましょ!!
Zoom ミーティング
ミーティングID: 822 5291 6017
パスコード: 045083
皆さまのご参加を心よりお待ちしております!

2026年8月18日（火）、**近畿ブロック薬剤師部会定例ミーティング**を開催しました。今回のテーマは「ポートフォリオ勉強会」です。

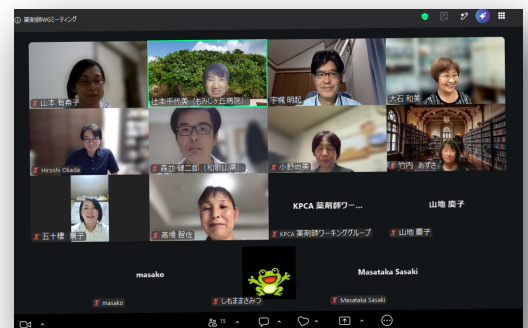
普段、薬剤師同士でポートフォリオについて学ぶ機会は少なく、「他の方がどのようなポートフォリオを作成しておられるのか知りたい」という思いから企画しました。認定更新の締め切りが7月末であることから、今年更新を迎えた方にとっても、作成時の記憶が新しいタイミングでの開催となりました。

まず、昨年度D領域（プライマリ・ケアにおける薬物治療）で優秀賞を受賞された山本有希子さんから実際に作成されたポートフォリオ（表題：「院内での妊婦・授乳期の向精神薬評価リスト作成」）を紹介していただきました。作成に至った経緯や参考文献、評価結果を視覚的に把握するための色分けなど具体的な工夫についてお話しいただいた

後、参加者から質問や感想が寄せられ、活発な意見交換となりました。また、情報の定期的なアップデートや他領域の疾患・薬剤への展開についての考察が共有されました。

今回の勉強会を通して、事例の選択理由、具体的な実践内容、プライマリ・ケアに関する考察へのつなげ方、参考文献の記載方法など、ポートフォリオ作成に役立つ具体的な学びを共有することができました。

今回の勉強会を通して、事例の選択理由、具体的な実践内容、プライマリ・ケアに関する考察へのつなげ方、参考文献の記載方法など、ポートフォリオ作成に役立つ具体的な学びを共有することができました。



案内：2027年2月13日 P-FES 2027 開催決定！

水谷 肇（大阪医科薬科大学病院 総合診療科）

毎年、近畿各地の専攻医・指導医、多職種の皆さまにご参加いただいている「近畿家庭医療・総合診療専攻医ポートフォリオ発表会（P-FES：Portfolio Festival）」を、今年度も開催いたします！

第19回となる今回は、2027年2月13日（土）、大阪医科薬科大学にて開催します。今年度も現地開催を基本とし、一部オンライン配信を組み合わせたハイブリッド形式で実施します。参加者・発表者は年々増加しており、今回はこれまでよりひとまわり大きな会場をご用意しました。発表者の熱意が伝わる会場の雰囲気と、発表後に生まれるフロアとの対話を大切にしたいと考えています。

本会では、専攻医の皆さまにポートフォリオ詳細事例報告をご提出いただき、当日の発表をお願いしています。日々の診療や研修に追われるなか、ポートフォリオ作成を後回しにしてしまうこともあると思います。だからこそ、発表という具体的な目標と締め切りを設け、自らの診療経験を言葉にし、一つのポートフォリオとして完成させることには大きな意義があります。

さらに、新家庭医療専門医試験と同様の評価基準に基づき、所属施設を越えた指導医や多職種から多角的なフィードバックを受けられることもP-FESの大きな特徴です。一つの事例を異なる視点から振り返ることで、自分では気づかなかった実践の価値や、次の課題が見えてくるはずです。

また、専攻医だけでなく薬剤師や看護師による発表も毎年好評です。同じ患者さんを診ていても、職種によって着目する問題や支援の組み立て方は異なります。多職種の実践報告から、それぞれの専門性や思考過程を学ぶこともP-FESならではの魅力です。

優秀ポートフォリオの全体発表、スペシャリストによるレクチャー、参加者同士の交流企画なども準備しています。終了後には大学食堂で懇親会を開催予定です。今回は土曜日の開催ですので、普段なかなか話す機会のない他プログラムの専攻医・指導医、多職種の皆さまと、職種や施設の垣根を越えて交流していただければと思います。

ポートフォリオを通して自らの実践を振り返り、互いの経験から学び、近畿の家庭医療・総合診療に携わる仲間とつながる一日です。皆さまのご参加と、専攻医・多職種の皆さまからの積極的なご発表を、心よりお待ちしております。

【発表者募集】

対象：JPCA近畿ブロック専攻医／全国の多職種

登録期間：2026年11月ごろから2か月程度

ポートフォリオ事例報告提出：2026年末ごろ

【聴講参加】

受付開始：2026年11月ごろから

* オンライン視聴は一部会場に限られます。



なお、本会は日本プライマリ・ケア連合学会の単位取得が可能です。託児所の利用も可能ですので、ご希望の方は後日送信する登録アンケートよりお申し込みください。まずは日程をご確保いただき、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

案内：「ポートフォリオブラッシュアップセミナー（P-BUS）」

毎月第1木曜日に開催している「ポートフォリオブラッシュアップセミナー（P-BUS）」は、家庭医療専門医を目指すうえで欠かせない、ポートフォリオ作成を支援するオンラインの学びの場です。普段指導を受けている先生とは異なる上級医と対話することで、自分だけでは気づけなかった視点に出会い、経験を振り返りながら内省を深めることができます。P-BUSでは、完成したポートフォリオを持参する必要はありません。まだ考えがまとまっていない段階、いわゆる「種」の状態から相談することができます。「こんな経験をポートフォリオにできるだろうか」「自分が何に引っかかっているのか、まだうまく言葉にできない」といった段階から、安心してディスカッションできる場を大切にしています。

これまで参加された学習者からは、

「ポートフォリオの書き方の基本から学べてよかった」

「言語化できていなかった自分の感情を静かに聞いてもらい、的確にまとめることができた」

「対話の中で新たな視点が見え、さらに内省が深まった」

などの声をいただいています。

次回は、**2026年10月1日（木）21時から**、1時間弱を予定しています。

ポートフォリオ提出を控えた専攻医はもちろん、指導医の先生方にとっても、対話を通して日々の診療や教育を振り返る学びの場として活用していただければと思います。**KONPassをご購入**のうえ、ぜひ継続的にご参加ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

案内：第22回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー

第22回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー（冬セミ）が、2027年2月27日（土）、28日（日）に開催されます！今回の会場は、大阪府大阪市にある「梅田スカイビル」。JR大阪駅から徒歩約7分と、全国各地からもアクセスしやすい会場です。現在、開催に向けて各部署が少しずつ動き始めています。

そして先日、第22回冬セミのテーマが発表されました。 **テーマは、『重なる旅路』**。

全国各地で家庭医療・総合診療に向き合う若手医師・医療者が、それぞれの経験や思い、これまで歩んできた「旅路」を持ち寄る。そして冬セミという場でその旅路が重なり合い、互いの歩みから刺激を受けながら、またそれぞれの地域へと進んでいく——。人が集まり、出会い、そして行き交う大阪という地で開催される冬セミへの思いが、この言葉には込められています。

今後、企画や参加方法などの情報も順次解禁予定です。FacebookやInstagram、XなどのSNSでも最新情報を発信していきます。第22回冬セミがどのような場になっていくのか、ぜひ今後の続報を楽しみにお待ちしております！

アカデミア 大学総診だより：京大で総合診療プログラムが始動。総合診療は広がっている。 — 京都大学、医学教育からの挑戦 —

村田 亜紀子（京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター）

京都大学医学部附属病院にはしばらく、総合診療科・総合診療部に相当する独立した診療部門がありませんでした。一方でここ数年、医学教育を重視する流れの中、総合診療をバックグラウンドとする人材が卒前・卒後の医学教育部門に集まりました。卒前教育を担う医学教育・国際化推進センター（CMEI）には2023年に片岡仁美教授、2024年に三好智子准教授が、卒後教育を担う総合臨床教育・研修センター（ICEC）には2024年に和足孝之准教授、村田亜紀子特定助教が着任し、それぞれの立場から教育に取り組んでいます。

卒前教育では、CMEIが5年生を対象とした地域医療・総合診療の2週間の臨床実習について、コーディネートと振り返りを担当しています。また、CMEIを中心にKyoto NEXT事業を展開し、FDを含む教育のさらなる充実を進めています。臨床研修では、ICECを中心に、質の高い総合診療・プライマリ・ケアを実践する地域の病院との連携を広げ、2026年度から広域連携型プログラムを開始しました。臨床研修医の学びの場として始めた「KITKATs」も、2025年度からレクチャーやケースカンファレンス、臨床手技、シミュレーションなどをシリーズ化し、現在ではほぼ毎週、医学生や臨床研修医が集う学びの場となっています。また、2025年度には「海外臨床留学プログラム」を開始し、ミシガン大学へ臨床研修医を派遣しました。こうした取り組みを進める中、2025年度の医師臨床研修マッチングでは募集定員を100%充足しました。

京都府地域医療支援センター（KMCC）京都大学ブランチャ事業を通じた地域との教育連携も進めています。大学と地域を一方向につなぐのではなく、さまざまな臨床現場で生まれた問いを大学の教育・研究につなぎ、そこで得られた知やアイデアを再び現場に返す。そんな循環をつくることも、これからの京都大学の役割だと考えています。

そして今回、京都大学医学部附属病院を基幹施設とする総合診療専門研修プログラムを新たに申請しました。現在は認可待ちですが、2027年度の研修開始に向け、専攻医募集も始めています。このプログラムで育てたいのは、地域を支える臨床医として患者や地域の現場にしっかりと根を置きながら、そこで感じた疑問を問いに変え、アカデミックな視点で探究するGeneralistです。患者、地域、医療システム、そして社会へと視野を広げ、また現場に戻る。その往復の中から新しい視点やアイデアを生み出し、周囲の人と共有しながら、少しずつ場に変化を生み出していく。私たちは、そんな人材を「Generalist Leader」と呼んでいます。進む道は一つではありません。どこにいても、問い、考え、つなぎ、新しい可能性を生み出せるGeneralistを育てることが、このプログラムの目標です。今後、家庭医療専門研修プログラムの申請も予定しています。

また本学は2026年、国際卓越研究大学として新たなスタートを切りました。これから大きく変わっていく大学の研究環境も生かしながら、臨床、教育、研究、そして地域を行き来できる次世代のGeneralistを育てていきたいと考えています。



総合診療をバックグラウンドに、卒前・卒後の医学教育に取り組むメンバー
左から和足孝之准教授（ICEC）、片岡仁美教授（CMEI）、三好智子准教授（CMEI）、村田亜紀子特定助教（ICEC）

京都大学医学部附属病院
総合診療専門研修プログラム

<https://icec.kuhp.kyoto-u.ac.jp/expertise/general-medicine/>



案内 : WONCA Asia Pacific Regional Conference 2027 香港大会のご案内

2027年のWONCA Asia-Pacific Regional Conferenceは、Hong Kong SARで開催されます！**4月22日（木）～25日（日）**、会場は、香港の新たな文化拠点として注目を集める西九龍文化地区（West Kowloon Cultural District）の「戯曲センター（Xiqu Centre）」で、香港の伝統芸能である粵劇（広東オペラ）を象徴する、伝統と現代建築が融合した印象的な施設です。

大会テーマは、“**Family Doctors: The Heart of Quality Primary Healthcare**”で、家庭医療・総合診療の本質を正面から掲げています。プログラムは、Holistic Care、Education & Training、Accessibility & Equity、Telemedicine・Technology・AI など、重要なテーマが取り上げられる予定ですが、いずれも熱い議論が繰り広げられることが期待されます。

また、今回の開催は、香港家庭医学会（HKCFP）設立50周年という節目にもあたります。アジア太平洋各国から家庭医・総合診療医、教育者、研究者が集まり、日々の診療や教育、地域活動について学び合い、新たなつながりをつくる絶好の機会となりそうです。

2027年春、アジア太平洋の仲間とともに、東洋と西洋、伝統と現代が交差する香港で、これからの家庭医療・プライマリ・ケアについて考えてみませんか。

アブストラクト、シンポジウム提案〆切 → 2026年11月15日

Early Bird Registration〆切 → 12月15日

学術大会ホームページ <https://www.woncaaprc2027hk.com/index>



ポッドキャスト

●近畿ブロックのレジェンドたちのライフヒストリー&感動秘話

- #1 石丸裕康先生
- #2 木戸友幸先生
- #3 中山(畔田)明子先生
- #4 雨森正記先生
- #5 鈴木富雄先生
- #6 松井善典先生
- #7 竹中裕昭先生
- #8 三澤美和先生
- #9 3人の専攻医たち
- #10 吉本清巳先生、および第35回近畿地方会の実行委員会のみなさま
- #11 大島民旗先生、川島篤志先生、稲岡雄太先生(第36回近畿地方会大会長他)
- #12 武田以知郎先生
- #13 廣西昌也先生、梶本賀義先生(第37回近畿地方会大会長、実行委員長)
- #14 角田秀樹先生
- #15 官澤洋平先生
- #16 合田 建先生
- #17 見坂恒明先生
- #18 鈴木富雄大会長他 JPCA2026 実行委員会より 2026.3 時点での進捗 5本
- #19 石丸直人先生



Legend of GP in KPCA

2021年度より支部活動や会員の状況、プライマリ・ケアの歴史、などを報告するニュースレターの取り組みの一環としてPodcastの配信を行っています。

今後続々と配信予定です。乞うご期待！！

----- LEGEND of GP in KPCA -----

日本プライマリ・ケア連合学会、近畿ブロックに所属、近畿で活躍するプライマリ・ケアプロバイダーたちをゲストにお招きし、これまでの変遷、今現場で感じていること、そして、未来に向けて、ざっくばらんなトークを繰り広げることで、近畿ブロックのみならず、日本全国のプライマリ・ケアに従事する方々に「元気」と「勇気」を持ってもらう番組です。

<https://podcasters.spotify.com/pod/show/kpca>



編集後記

先日、医療的ケア児のケアに関する意見交換会に参加する機会がありました。主催者である県の地域医療連携科を中心に、大学病院の周産期母子医療センター、地域連携・入退院支援センター、地域基幹病院の小児科、新生児集中治療部のほか、地域の小児科医、在宅クリニック、ソーシャルワーカーなどなど... まさにモザイクな集団でした。果たしてこのメンバーで議論がまとまるのだろうかと心配したのですが、県のコーディネーターの絶妙な声かけもあってか、次第に一体感が生まれていきました。高次医療機関と在宅の役割分担とオーバーラップの重要性、医療的ケア児とその家族の日常生活をサポートするためにできること、継続性と包括性をもったかかりつけ機能など、重要な議論で盛り上がりました。

プライマリ・ケアにたずさわる人たちは、それぞれ異なるセッティングで日々活躍する、まさにモザイクのような集団です。そして、様々な局面でつながり、同じ方向を目指しつつ、時には対立し、徐々に課題を乗り越え解決していくことでしょう。このニュースレターにもその一部が垣間見られるのではないかと思います。モザイクな関わりが、あらたな発見、つながりに発展していくことを願っています。

KA 2026.10.4